

主催 日本福祉文化学会研究委員会
後援 昭和女子大学福祉社会学科永山ゼミ

「福祉文化」理論研究集会

日本福祉文化学会では、福祉文化の概念の検討の成果は、『福祉文化論』『実践・福祉文化シリーズ』（全5巻）をはじめ、企画研究委員会による集団研究の実績については第14回埼玉大会や『福祉文化研究』vol.14で発表されました。同時に学会外で、福祉文化についての新たな考え方もでてきました。

研究委員会としてはこのような研究状況をふまえ、福祉文化理論に関するサーベーターと理論的検討を行える環境を整え、会員の創造的な研究や実践に何らかの寄与ができるような形で集約をしたいと考えています。

そのために、本年度第1回の「福祉文化」理論研究の研究集会を企画しましたので、ここに日本福祉文化学会および昭和女子大学福祉社会学科学生の参加を呼びかけます。

記

日 時：2009年7月25日（土） 12:00 - 13:20

会 場：昭和女子大学大学80号館 2F 2S07教室（予定）

会議略称：永山ゼミナール（正門守衛室に名称を間違えないように告げ、会場を確認してください）

報告者 津曲 祐次 先生（長崎純心大学大学院教授）.....

一番ヶ瀬康子先生の「福祉文化」論

*報告後、意見交換：「福祉文化」理論の研究の課題

*津曲教授は、一番ヶ瀬先生の「福祉文化」論形成に影響を与えた方です。

参加費：無 料

問合せ先：03-4311-4260（地域福祉研究室・永山ゼミ）

：03-3411-6936（教授室・永山宛）